

# ほん屋

店主:図書委員  
(上原、金城、宇根、久保)



寒さも少しずつ厳しくなり、本格的な冬の訪れを感じられる頃となりました。体調には十分気を付けて、よい12月をお過ごしください！



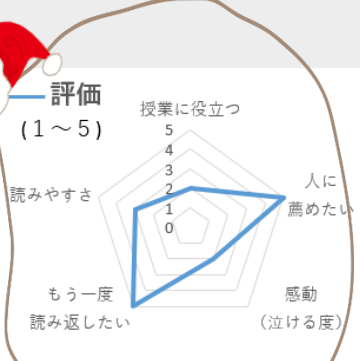
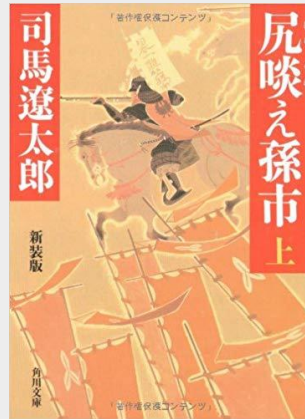
“ほん屋” of the students, by the students, for the students  
※この発刊紙は、学生が作るニュース(図書館発刊)です。

## 【生物資源工学科 3年 喜納亜優】

### 「尻啖え孫市」

著者: 司馬遼太郎

この本は女好きの武将、雑賀孫市の半生書いた物語です。雑賀孫市はあまり有名な武将ではなく、実際、私がこの人物を知るきっかけになったのも、とあるソーシャルゲームでした。雑賀孫市とは雑賀衆と呼ばれる集団の統領であり、この雑賀衆というのは、「味方にすれば必ず戦に勝ち、敵にすれば必ず負ける」といわれるほどの傭兵集団でした。『尻啖え孫市』の孫市は大変な女好きですが、それでも憎めない、誰も彼に惚れてしまう、そういう人物として描かれています。私自身もこの物語のおかげで見事に孫市に落ち、読み終わった後の孫市口スは大変なものでした。



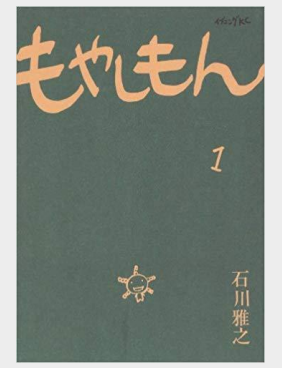
## 【生物資源工学科 3年 桑江良太郎】

### 「もやしもん」

著者: 石川雅之



生物生必見! 「菌」の存在を肉眼で視認できるという不思議な能力を持つ主人公・沢木惣衛門直保とその愉快な仲間たちの学園コメディ漫画です。A. オリゼーやS. セレビシエ、そのほかにもたくさんの菌がかわいいキャラクターとなって登場します。さらにはお酒の作り方、種類、酒造業界のことなどを、キャラクターを交えて解説してくれます。そして主人公や仲間の成長も見逃せません! ぜひ読んでみてください!



## 【機械システム工学科 3年 金城響】

### 「掟上今日子の備忘録(忘却探偵シリーズ)」

著者: 西尾維新

眠ると記憶を失う体質の主人公が、難事件を一日で解決していくミステリー小説です。冤罪体質でなぜか事件によく巻き込まれる主人公の相棒が語り部となって物語が進行するのですが、二人の会話の掛け合いが説妙で頭が痛くなりそうという理由でミステリー作品を敬遠していた私でもすらすら読み進めることができました面白い本です。活字が苦手な長時間本を読むのが得意でないという人にこの小説をぜひ読んでほしい。

